



クラウドファンディング報告会に参加しました

令和8年7月27日

令和8年7月27日（月）、神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センターで行われた、クラウドファンディング報告会に参加しました。

報告会は最新式の輸液ポンプ「スマートポンプ」の購入のために始めたクラウドファンディングの結果等を報告するもので、この活動を支援した多くの方が参加しました。



石川病院長の挨拶

冒頭、石川病院長からは、「寄付総額72,110,000円、支援者数2,250名と想像を超えるたくさんの方々からのご支援により目標を大きく上回り、プロジェクトが成立いたしました。温かいご寄付をいただいた皆様に、

心より深く御礼申し上げます。」とご挨拶をいただきました。

続いて、スマートポンプのデモ機実演が行われ、心臓手術などを受ける子どもにミスなく薬剤を投与ができるので、導入すれば、看護師が患者や家族と関わる時間も増えるとの説明を受けました。



スマートポンプの説明とデモ機実演の様子

日夜、小児集中治療室（PICU）で一分一秒を争いながら活動しているスタッフの皆様からお礼の言葉をいただきました。



PICU 病棟スタッフの皆さんからお礼の言葉

また、参加者に対する感謝状贈呈も行われ、石川病院長から神奈川県遊技場協同組合佐藤信晶専務理事(神奈川県福祉事業協会理事)に、神奈川県知事感謝状が手渡されました。



石川病院長（左）と神奈川県遊技場協同組合佐藤専務理事

今後、スマートポンプは入札を経て、今秋には納品されるということです。

病気と闘う子どもたちの「命」と「心」を救う一助となれば幸いです。

私たち遊技業界は、これからも社会貢献活動に取り組んでまいります。



神奈川県福祉事業協会は昭和 60 年 2 月、神奈川県遊技場協同組合をはじめ県内遊技業界により社会福祉に貢献する組織として設立されました。